

中国レポート：異次元の都市化が開く新しい中国の姿①



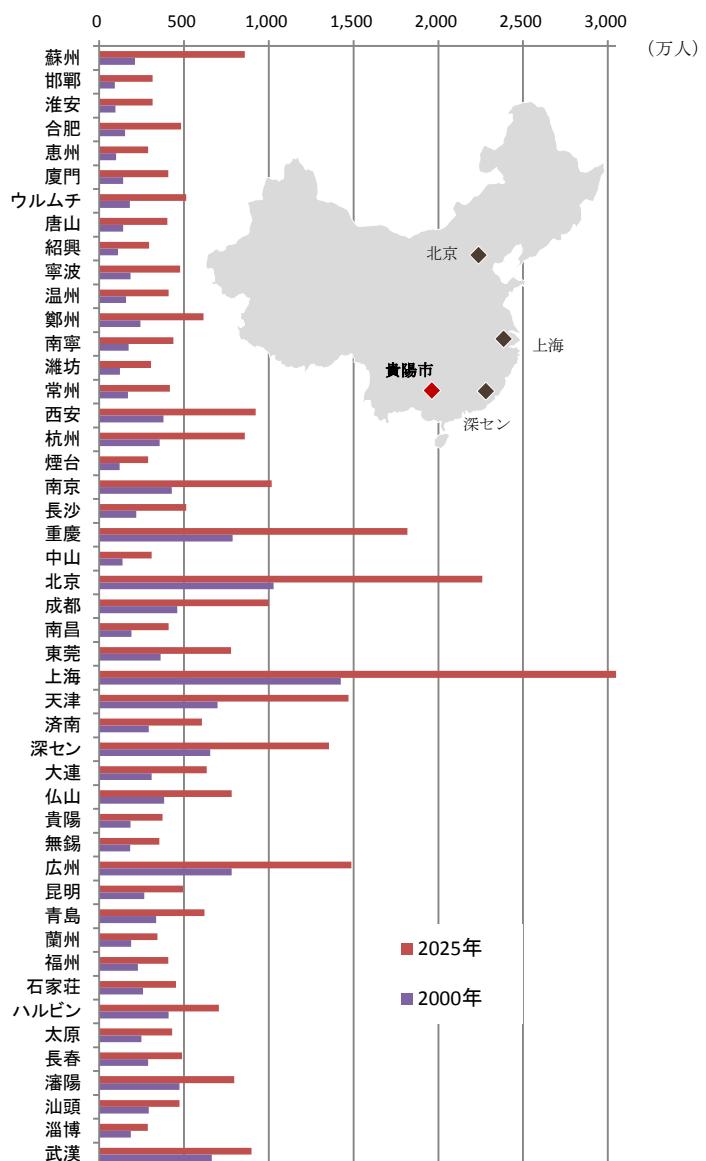
どこにあるか、名前も聞いたことがない都市

- ✓ 国連の世界都市人口予測によると、2025年には世界の上位200都市のうち47が中国圏に存在することになるようだ。22都市が人口500万人、8都市が1,000万人以上の都市となると見られる。この予測をもとに2000年以降の人口の伸びが早い都市順に並べてみた。名前さえ聞いたことがない都市も多く、意外に拡散している。
- ✓ 今後の中国の都市化は、深セン、上海、北京といったメガシティだけでなく、裾野を広げた異次元の規模での加速が予測されている。
- ✓ ビックデータ産業的一大拠点の貴陽市を知る人は少ない。広州でも長江ベルトでもない南西に位置する。2011年から8年連続でGDP成長率の全国トップ3の贵州省の中心だ。このような新興都市の存在は、世界に認知されていない。

都市化の何が素晴らしいのか？

- ✓ 人類は都市化によって経済成長を加速させてきた。高い人口集中地域では、規模の経済、労働の専業化、スキルや知識の集積と拡散によって、生産性が高まる。歴史がこれを立証してきた。
- ✓ 生産性の向上は、都市が作り出すネットワーク効果によって更に強化される。都市インフラが提供する利便性に加え、大学など高いスキルを持つ人材を育てるネットワークなどが企業の生産活動を高めるからだ。

■2025年、中国47都市が世界上位200位内へ（2000年と2025年人口予測値、当期間の伸び率順）



- ✓ 生産性を高めるネットワークは、都市の人口密度が高いほど構築されやすく、都市の規模が大きいほど、効果が大きくなるとの分析がある。中国の都市人口は、2025年に10億人に迫ると予測され、内22都市が500万人以上の人口を抱えた場合、当然人口密度も高まると見られる。
- ✓ この異次元の都市化により、中国には新たな消費者層、豊富な労働力、様々な経済機会が提供されると見られる。加えて重要なのは、イノベーション技術の創出による生産性の向上だ。

※次回は、中国の「新型都市化」計画、一带一路構想との関わりなどについて、ご紹介します。

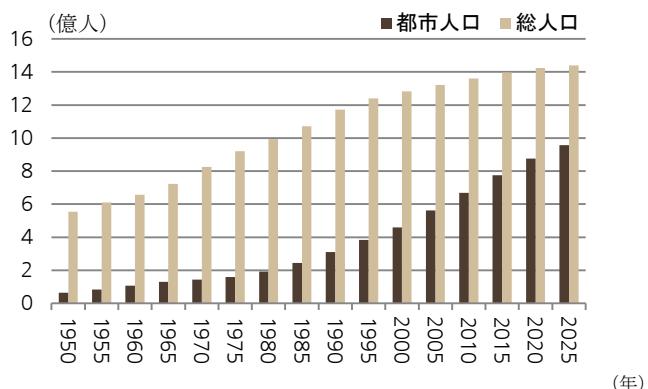
■中国のメガシティ、人口伸び率上位の都市 (2025年の人口予測及び2000年との比較)



出所：国連の世界都市人口予測 2018年改訂版を基に、当社作成

■中国の都市化の推移

(1950年～2025年、2020年以降は国連予測)



出所：国連の世界都市人口予測 2018年改訂版を基に、当社作成

上記のデータは過去のものであり、将来の動向を示唆、保証するものではありません。

商号： UBS アセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第412号

加入協会： 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

本資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、信頼できる情報をもとに UBS アセット・マネジメント株式会社によって作成されておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。本資料に記載されている内容・数値・図表・意見・予測等は、本資料作成時点のものであり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。

© UBS 2018. キーシンボル及び UBS の各標章は、UBS の登録又は未登録商標です。UBS は全ての権利を留保します。